

9月の産地情報

輪菊	白菊	主な産地は愛知、静岡、東北。各地例年並みの作付け量。 高温期の影響により生育の遅れや品質の低下もやや懸念されるが、総体では概ね順調。
	黄・赤菊	主な産地は愛知、静岡、東北。 8月の高温による生育不良が懸念されるが、概ね昨年並みの出荷量が見込まれる。主な品種は精の光彩。
小菊		福島中心。品種により生育の遅れが見込まれ、現在の所入荷のピークは13日～15日頃の見込み。
SPマム		愛知、静岡、栃木、秋田中心。暑さの影響もあり若干遅れ気味だが、10日前後から増加してくる見込み。
バラ		山形中心。高温猛暑の影響により、例年に比べて60～40cmの出荷がやや多い見込み。
カーネーション		ST・SP共に北海道中心。気温が高く、8月と同様に前進気味の生育となっている。
かすみ草		福島中心。例年並みの出荷量。
リシアンサス		各地前進の為、やや少ない出荷。色バランスに偏りが出る可能性あり。
ユリ	オリエンタル	北海道、新潟、埼玉中心。各産地概ね昨年並みの植え付け計画をしているが、8月の高温や干ばつなどにより9月の出荷は全体的に品質の悪化が懸念される。白：色は7：3で、カサブランカは少なく八重咲が多い。
	スカシ・鉄砲	すかしLAは新潟、埼玉中心で数量は昨年並み。テッポウユリは長野中心で、例年並みで数量は多く無い。
洋ラン類		・オンシジューム：国産、輸入共に下旬頃から少しずつ数量が増える見込み。・カトレア、シンビ、ファレノ：数量は横ばい。 ・デンファレ：国産は白品種を中心に数量が増える見込み。輸入も潤沢な出荷の見込み。
季節もの		・オミナエシ、フジバカマ、ワレモコウ：生育良好。・ススキ：生育は良いが、今年の遅いお月見までであるかが不安点。 ・愛知知多久留米ケイトウ：今のところ台風の影響は無く、順調出荷の見込み。